

財政収支(2018年1-10月)

(1) 2018年1-10月における歳入は前年同期比19.5%増、税収は同17.9%増。

(2) 歳出は前年同期比23.3%増。

(3) 財政収支は621億リラの赤字(前年同期比77.7%増)。プライマリーバランスは25億リラの黒字(前年同期は152億リラの黒字)。

データ:財務省 単位:百万リラ

歳入・歳出内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	509,442	608,960	19.5%
税収	430,909	507,855	17.9%
所得税	90,868	113,818	25.3%
法人税	40,368	53,940	33.6%
付加価値税(国内及び輸入)	123,999	151,417	22.1%
特別消費税	111,424	111,583	0.1%
その他税収	64,250	77,097	20.0%
税外収入等	78,533	101,105	28.7%
歳出(b)	544,403	671,070	23.3%
人件費	136,775	168,269	23.0%
物品及びサービスの購入	46,259	52,325	13.1%
経常移転	225,075	267,944	19.0%
資本支出	44,475	60,808	36.7%
支払利子(c)	50,122	64,645	29.0%
その他歳出	41,697	57,079	36.9%
財政収支(a-b)	▲ 34,961	▲ 62,110	▲ 77.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	15,161	2,535	▲ 83.3%

経常収支(2018年1-9月)

(1) 2018年1-9月の経常収支は、前年同期比4.2%赤字幅縮小し、300億ドルの赤字。9月単月では18億ドルの黒字となった。

(2) 貿易収支は前年同期比0.1%赤字幅縮小、旅行収支は同16.5%黒字増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

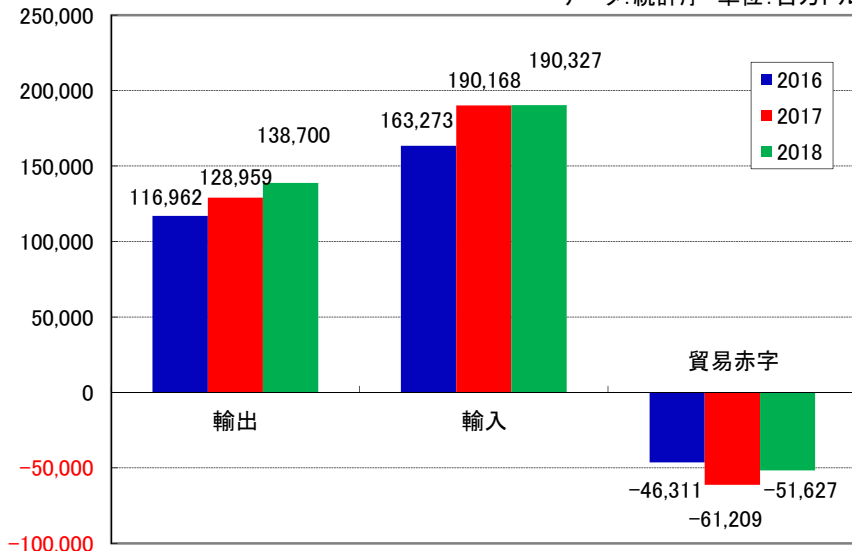
内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 31,291	▲ 29,992	4.2%
貿易収支(物品)	▲ 40,987	▲ 40,932	0.1%
サービス収支	15,585	18,990	21.8%
旅行収支	13,710	15,969	16.5%
その他サービス収支	1,875	3,021	61.1%
第1次所得収支	▲ 7,780	▲ 8,397	▲ 7.9%
第2次所得収支	1,891	347	▲ 81.6%
労働者送金	328	267	▲ 18.6%
その他第2次所得収支	1,563	80	▲ 94.9%
資本移転等収支	18	57	216.7%
金融収支	▲ 34,420	▲ 12,628	63.3%
直接投資	▲ 5,935	▲ 5,332	10.2%
証券投資	▲ 23,678	3,120	113.2%
その他投資	▲ 4,338	6,470	249.1%
外貨準備	▲ 469	▲ 16,886	▲ 3500.4%
誤差脱漏	▲ 3,147	17,307	650.0%

貿易収支(2018年1-10月)

(1) 2018年1-10月の輸出額は1,387億ドル(前年同期比7.6%増)、輸入額は1,903億ドル(同0.1%増)となり、この結果、貿易収支は516億ドルの赤字(同15.7%赤字縮小)となった。

(2) 2018年1-10月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は50.3%(前年同期は46.8%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は36.3%(同35.9%)となっている。

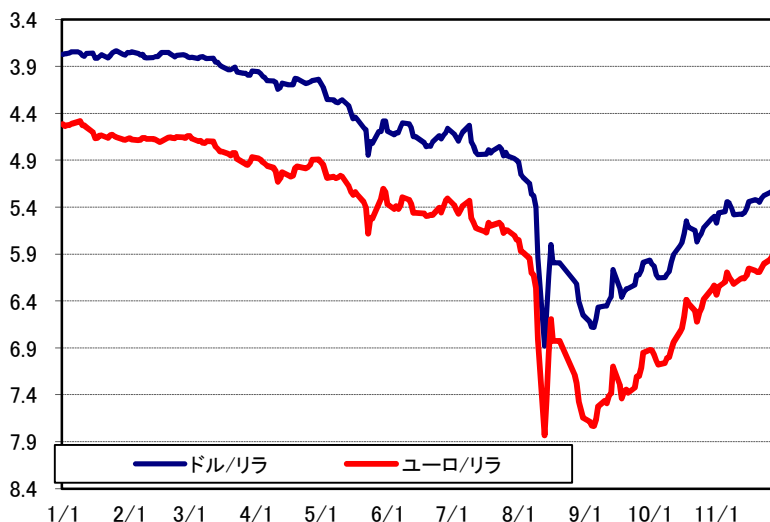
データ:統計庁 単位:百万ドル



為替(11月)

11月のリラ相場は、局地的な下振れはあったものの、概ね堅調に推移。トランプ米大統領がトルコ産の鉄鋼・アルミニウムの関税を倍にするとツイートしてリラが急落した8月10日以前の水準まで回復。28日には金利がこの先あまり大幅に上昇する必要がないことを示唆したパウエルFRB議長の発言もあり、リラ高が進行。31日時点で1ドル=5.157リラ、1ユーロ=5.8679リラ。

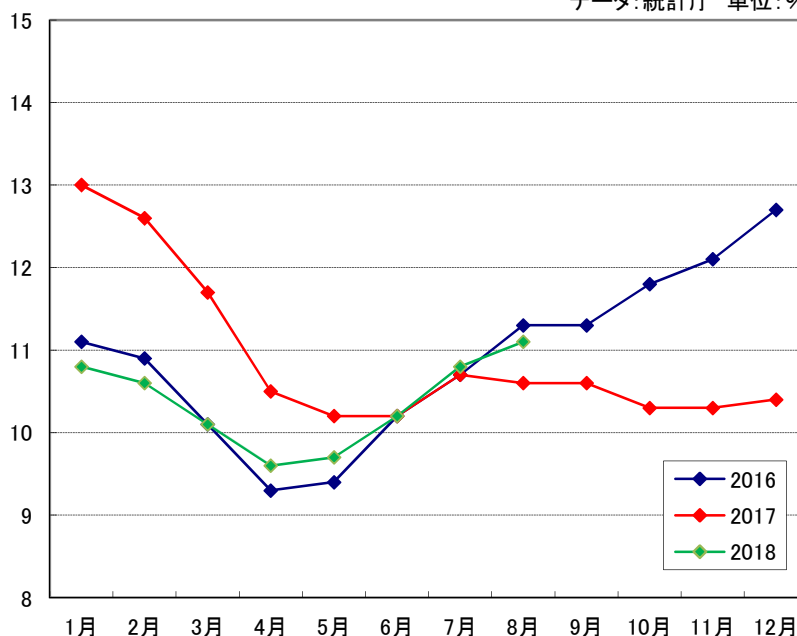
データ:中央銀行 単位:1ドル=リラ、1ユーロ=リラ



失業率(8月)

(1)2018年8月の失業率は11.1%。前年同月から0.5ポイント、前月から0.3ポイントの上昇。
 (2)労働力人口は3,299万人、就労者数は2,932万人、失業者数は367万人。
 (3)男性の失業率は9.2%、女性は15.1%。若年層(15-24歳)の失業率は20.8%となっている。

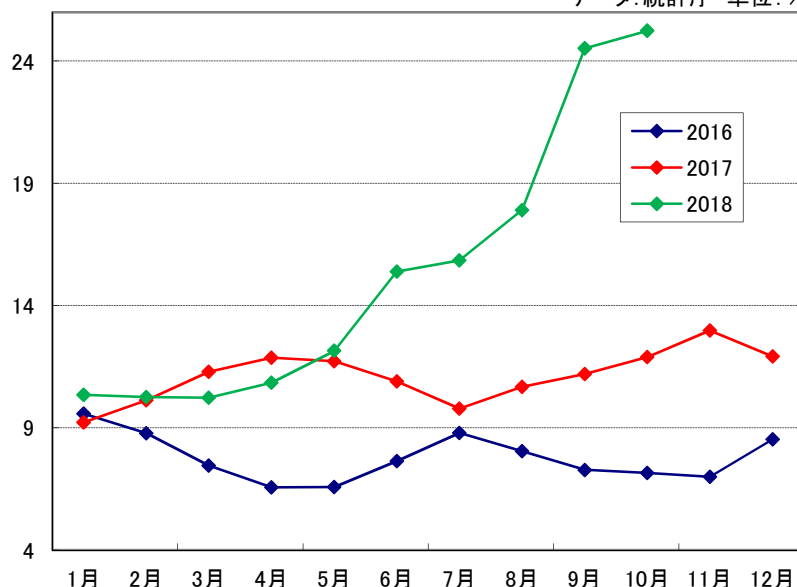
データ:統計庁 単位:%



物価上昇率(10月)

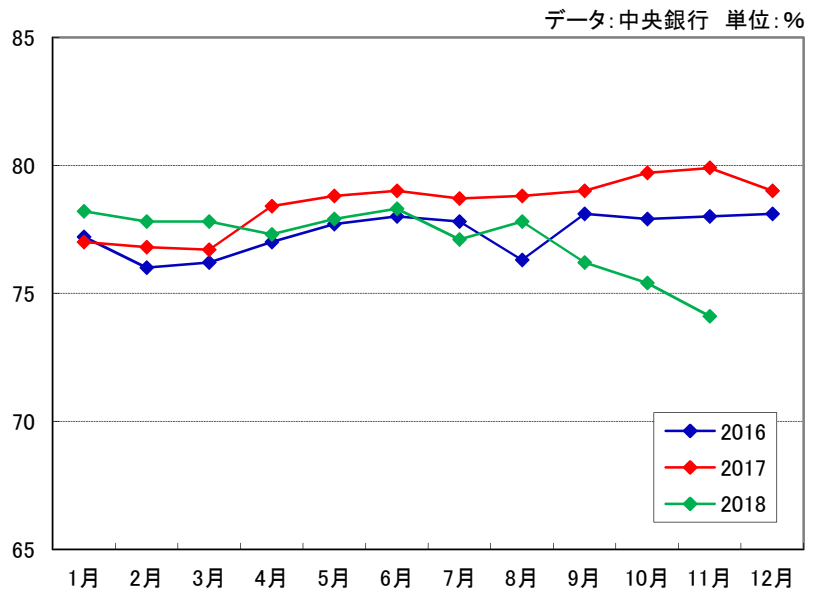
(1)2018年10月の消費者物価は前月比2.67%増、前年同月比25.24%増。
 (2)項目別では、前月比で最も上昇したのは、衣類で12.74%増、前年同月比で最も上昇したのは、家具・家庭用機器で37.92%増。
 (3)中銀の2018年末のインフレ予測(10/31時点)は前年同月比23.5%増。
 (4)国内生産者物価指数は前月比0.91%増、前年同月比45.01%増となった。

データ:統計庁 単位:%



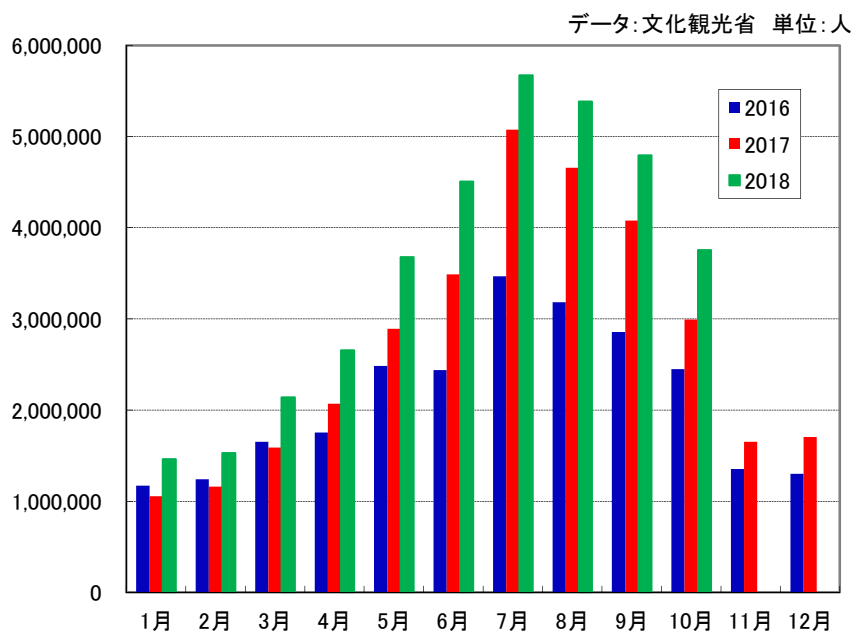
設備稼働率(11月)

(1)2018年10月の設備稼働率は74.1%となり、前月から1.3ポイント減少。前年同月からは5.8ポイント減少となった。
 (2)製造業の分野別では、石炭・石油精製品(83.37%)が最も稼働率が高く、化学物質・化学製品(52.32%)が最も低い稼働率であった。



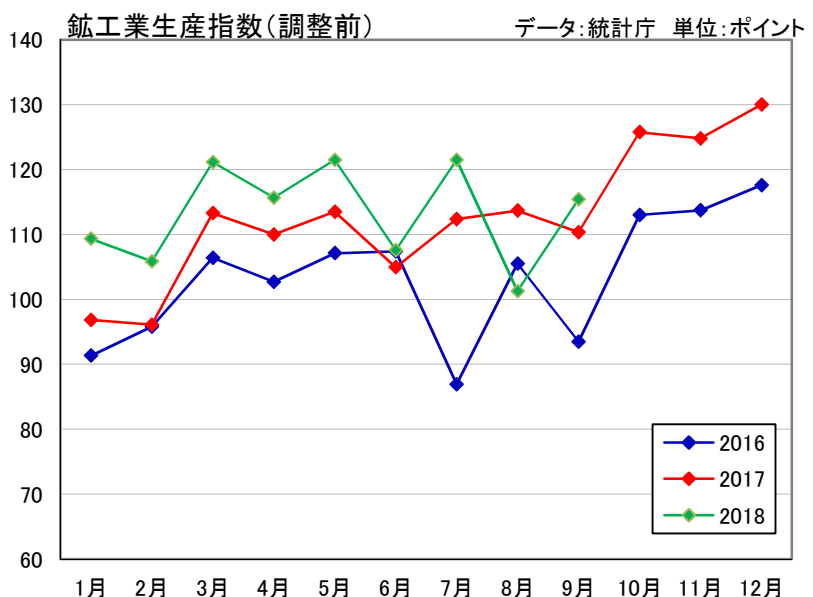
外国人訪問者数(10月)

(1)2018年10月にトルコを訪れた外国人訪問者は375.5万人で、前年同月比25.48%増。
 (2)訪問者数を国別に見るとロシアからが最も多く60.4万人で全体の16.1%を占める。以下、ドイツ(59.0万人)、英国(26.4万人)となっている。
 (3)なお、日本からの訪問者は8,802人(前年同月比61.9%増)となった。



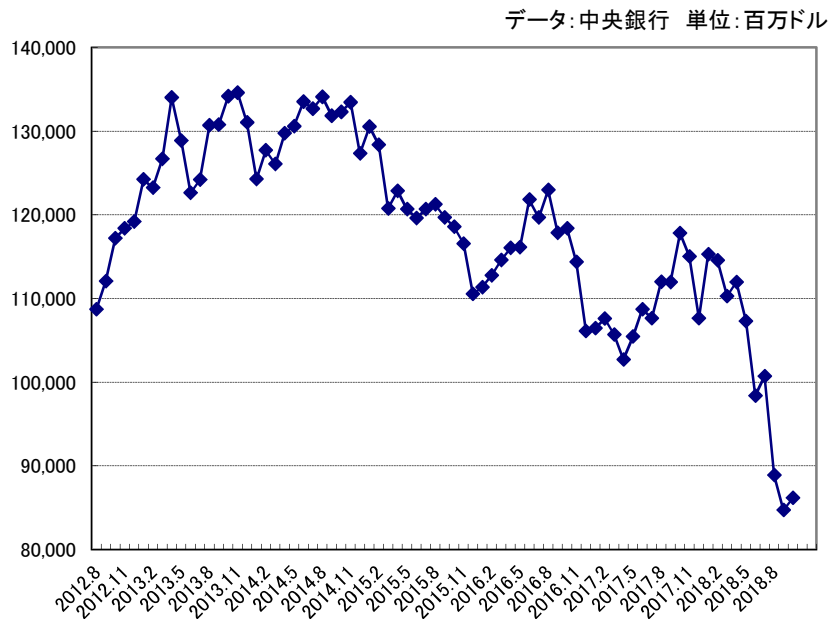
鉱工業生産指数(9月)

(1)2018年9月期の鉱工業生産指数(調整前)は115.4ポイント(2015年=100)となり、前年同月比(日数調整後)及び前月比(季節及び日数調整後)は共に2.7%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前月比7.0%増、資本財が同6.8%減。



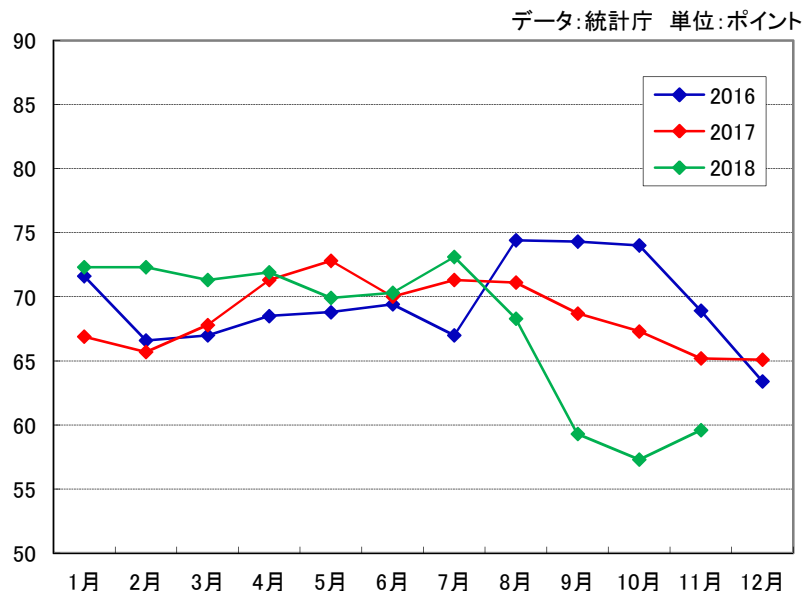
外貨準備高(10月)

(1)2018年10月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は862億ドルとなった。
 (2)前月から15億ドル増加したものの、依然として900億ドルを下回る低い水準。



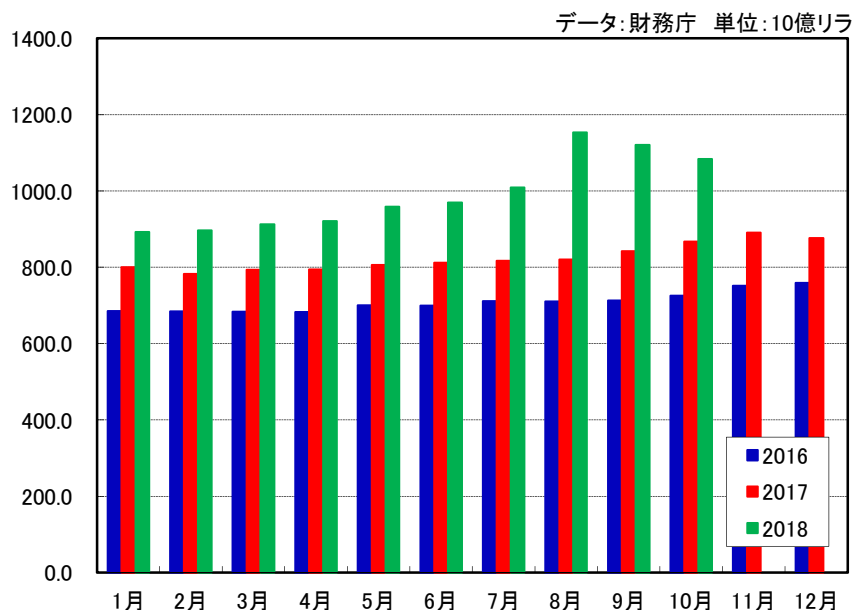
消費者信頼感指数(11月)

(1)2018年11月の消費者信頼感指数は前月から2.3ポイント上昇し59.6ポイントと改善したものの、依然として低水準。
 (2)内訳では、一般経済見通しが前月から4.6ポイント上昇の77.4ポイント、家計における財政状況見通しが前月から4.0ポイント上昇の77.5ポイントとなった。



中央政府債務残高(10月)

(1)2018年10月時点での中央政府債務残高は1兆835億リラとなり、前年同期比24.9%増加した。なお、前月比では3.4%の減少となった。
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に54.4%となっている(2017年末61.1%)。
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は3.1%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。